

平町の要求通り

一時金で解決

愛谷江筋水路の使用料

愈よ道路着工

平町本町南裏河津通り道路

擴張に係る愛谷江筋水路の

使用料問題は昨報の如く平

土木委員会と愛谷江筋組合

兩者間に種々接衝の結果、

昨十二日午後組合側から一

時金三百五十圓を以つて承

諾の回答あり平土木委員會

では近く町會の議に附して

決定を求めることになり圓

滿解決の曙光を見るに至つ

た。尙同工事は町會で使用

料金額決定後は直に受益者

の負擔金を纏めて着工。同

江水に架る平署通り橋より

聚樂館側に至る迄を來春四

月迄に大體竣功させる見込

オリムピックの旅

〔其〕

往來途上の印象記

辯護士

松野尾 繁雄

伯林で友人と大倉商事支店を訪ねたことがある。その折、エレベーターに乗ろうとしたら大きなボスターに「此の建物の中ではハイム・ヒトラーといふ言葉のみが挨拶として通用する」と書いてあった。考

へても無理ではなからう。こうやられては、獨逸人たるもの、ハイム・ヒトラーとやらざるを得ないではないか。然し、そこにはナチス獨裁、強制が多分に行はれてゐるにせよ、ともかくも現在のヒトラーの人氣には

のところが十二日十八口の割當決定の通知を受けた

でみると

因に同使用料は大正六年

以來平町側で同町を流れる

同水路の堤塘を使用し

てゐるため年百圓宛支拂

つて來たもので今回の水路

をヒューム管を使用し

て埋め、自動車通行可能

の約三間幅の道路完成計

書と共に兩者間に種々接

衝あり妥協なつて一時金

三百五十圓で圓滿解決を

見たのである

鐵工出資割當 平鐵

工機械工業組合では商工組

合中央金庫出資口數申込中

俵米値落

昨日の共販

前日より五十錢安

石城販聯の俵米共販は昨十

二日平農倉庫で行はれた

が取引俵数は三百六十八俵

で価格は左の如く前日に比

し五十錢安である

大野一圓二七錢 小川

一〇、四二 平窪一〇、

四五 飯野一號一〇、五

四 同二號一〇、四一

同三號一〇、五二

それ相當の根據のあること

は前述の通りである。

獨逸の經濟狀態、問題は

今後だ。獨逸の經濟窮乏は

想像以上らしい。増大し行

く國費の支辨は、公債政策

一本槍である。金融市場や

銀行の引受能力は相當限度

に近づいてゐるようだ。結

局一般的増税を斷行し従つ

てより以上の國民生活の窮

迫、マークの安定は破れ、

再び悪性インフレかくして

ナチス政權の没落、と觀測

する經濟人、國內に渺か

出廻り減少の

四倉藩市

十五日に閉る

四倉藩市場は目下繼續中であるが出廻りも益々減少して來たので來る十五日閉場することになつた

平驛關係

軟式野球

平驛關係鐵道從業員秋季恒

例軟式野球大會は來る十八

日午前九時から平商、第一

兩校グラウンドで舉行、俱

樂部優勝旗獲得の熱戦を展

開することになつたが前年

の覇者製鐵チームを含む左

記八チームは何れも技倆伯

仲で勝敗の豫斷全く許さず

當日の接戦を期待されてゐ

る

△驛二チーム△東掌一△

保線一△機關四チーム

警女の競技記録

校内對抗体育大會終了

既報警女の各學年對抗優勝

旗爭奪校内體育大會も此程

終了總得點三年六四、二年

四〇、四年三六、一年一八

で榮ある優勝旗は三年の手

に歸したが各種目に於ける

最高記録保持者は左の如く

である

△六十米(八秒七)二年北

郷春枝△百米(二三秒九)

三年木村トシ子△二百繼

走(二八秒八)三年木村、

薄葉、織田、五十石△四百

繼走(五七秒六)三年同人

△走幅跳(四米七四)三年

五十石剛子△ボールスロ

ー(二四米九四)二年北村

琴子△走高跳(一米三二)

三年薄葉ヒサ子

磐中考査終了 既報

去る九日から開始の磐中第

三回大会は、

忽ちヒトラーの失脚では

なからうか。

ナチスは國民の眼が國內

事情に向けられること、即

經濟的窮乏に眼を向けられ

ること、を極端におそれて

二學期臨時考査は今十三日

終了した

縣下中等学校の

職員庭球

警女メンバー

警女職員庭球部は既報の如

く來る十七日郡山市安積高

女コートに開催される第一

回縣下中等學校職員庭球大

會に出發するがメンバーは

左の如く當日平發午前六時

十五分で出發する由

鈴木一内 松浦一土岐

橋本一金澤 永島一蝦名

は同校のバザーも開催され

る事として櫻ヶ丘臺上の賑ひ

一方ならざるものがあらう

平鐵道の出陣 水戸

運事、保事管内硬式野球大

會は來る二十三、二十四の

兩日午前九時から茨城縣勝

田專屬グラウンドで開催

平驛、平機關區、平保線

區、平車掌分區、平檢車

區

の各チーム出場するため目

下優勝旗並に優勝盃を目標

して猛烈な練習を行つてゐ

る

平町人事

回出生

△胡摩澤二一渡邊政壽氏三

女トシ子さん

秋……味覺の秋

海老料理初めました

何卒御試食下さい

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

……

外科

専門

X光線科

上田外科醫院

平町南町

電話一二九番

魚清食堂

電話六三三

平二警署裏通り

此外御注文に應じ色々調理致します

- 天井 三十錢
- フライ 廿五錢
- 天ぷら 廿五錢

横領した社金を

賭博に巻上らるる

▽イカサマの一味が

珠数つなぎに平署へ

昨報一赤井村川瀬炭礦の常習賭博園坑夫一味十餘名檢舉の端緒を自供した同礦糧食部雇馬目彦太郎(三)は取調べの結果四百餘圓の拐帶逃走の外依然から五百三十餘圓の社金を横領平町新田町の藝妓なか子(三)に入れ揚げ更に前記賭博園の一味の賭場に手を出して巻き揚

年期を増してもと

涙の哀願

藝妓なか子が

男への心だて

別項一馬目は昭和七年迄平町警署實業銀行に勤務それ以前から犯行の蔭の女として藝妓なか子と馴染を重ね一時は同棲したこともある仲で

馬目が檢舉されて以後なか子は平署に出頭して「年期を増しても借金して横領金は支拂ふから寛大な處置を」と係官に嘆願して紅燈の女の純情を見せてゐる

第三蛔虫驅除 平第

三校は今明の二日間全校見

逮捕功勞

平署警官表彰

平署左記警官は頭書犯人逮捕の功勞顯著のためこの程伊藤知事から金一封を授與表彰された
(窃盗犯人安食恒雄逮捕) 要田留吉(窃盗犯人長岡伊平逮捕) 宗像政雄(同) 草野高志(窃盗犯薄清勝逮捕) 要田留吉(二階堂喜三郎外九名逮捕) 菊地

最初の運動會に

合憎の雨

平商が大落膽

十五日には花火合圖で

けふの平商最初の陸上運動會は合憎の雨に祟られ中止となり意氣込んでゐた職員生徒の落膽一方ならざるものがあるが此分では止めば十五日に延期開催の筈で當日は午前五時半花火二發を秋空に轟かして合圖とする由
戊申詔書記念 平町中等學校及び各小學校は今日十三日の戊申詔書御下賜記念日に際し奉讀式舉行後校長の記念講話があつた

十二月一日から

列車時刻が改正

山崎平驛長は本十三日水戸運輸事務所が開かれた来る十二月一日からの常磐線列車時刻改正の打合せに出席した、但し今度の改正は二分の差で今の時間と大した變りはない由

縣下制覇に

學童の出場

平第一、同第三の兩校體育部は来る十七日福島市に開催される師範學校主催の縣下學童四百米繼走に出場する筈で兩校の出場選手は左

明日の天気

十四日
今晩は北の風雨
後曇
明日は北西の風
晴

- ### 今晚の部
- 後六、〇〇 幼児への昔噺「さんたらう」オハナシクラブ
 - 後六、二五 青年の時間「青年と美術」南薫造
 - 後七、三〇 生活改善講座「健康生活と體育運動」岩原拓
 - 後八、〇〇 俚語めぐり「安來節」關の五本松川島なみ

- ### 明日の部
- 前六、三〇 基礎英語講座
 - 後八、二二 義太夫さばり「揚屋」豊竹昇之助
 - 後八、三〇 管絃樂「ハイ」
 - 北帝大交響樂團
 - 後九、〇〇 落語「長屋チム」三遊亭金馬
 - 後九、三〇 時報「ニュー」
 - 明日の話題 氣象通報 番組豫告

- ### 鹽谷榮
- 前七、〇一 朝の修養「與の細道の心」萩原井泉水
 - 前八、〇〇 家庭教育講座「子供の問題の見方考へ方」岩井勝二郎
 - 後〇、〇五 新人紹介「ハ」
 - 後〇、一〇 獨奏「齋藤金次郎」
 - 後〇、二〇 獨奏「福島縣双葉郡刈宿村刈宿青年團有志」
 - 後〇、三〇 國民歌謡「邦人一如の歌」伊藤武雄
 - 後二、〇〇 婦人の時間「百萬一心の話」香川政一
 - 後二、四〇 小學生高等科の時間「日本の住居」佐藤武夫
 - 後三、一〇 教師の時間

- ### 讀本朗讀講座「卷六一」東
- 後四、二〇 東京相撲大坂中繼 堂島大橋相撲場
 - 後六、〇〇 歌とピアノ「J.O.A.K.唱歌隊」
 - 後六、二五 英語講座 大宮健太郎
 - 後七、三〇 講演「鐵道の使命」前田鐵相「付」鐵道精神の歌「鐵道省合唱團」
 - 後八、〇〇 俚語めぐり「木曾節」伊那節「熊崎慶太郎」
 - 後八、一〇 オペレッタ「浮はきな樂長」榎本健一
 - 後八、五五 浪花節「腹切魚」龍甲齋虎丸

裁判一束

- △四倉町字仲町七四自動車運轉手遠藤健(三)は去る八月九日午後二時半頃トラックを運轉同町本町地内を疾走中自轉車の原芳生(三)君に衝突全治二週間の重傷を與へ今十三日平區西判事から業務上運失傷害罪として略式罰金二十圓に處された
- △錦村大字中田昭和館長屋二八號鐵工宮崎辰次(三)に係る恐喝傷害事件の公判は今日十三日午前九時から平區で野木判事係り櫻井檢事立會の下に開延されたが前科其他不明の点あり十八日に續行された

逃げる養子

盲目の父が搜索願

小名濱町船主通稱アテブチ方雇漁夫久之濱町字東町丑之助養子高木清一郎(三)は去月上旬病氣で歸宅すると主家から十圓を借りて出たまゝ行方不明となり捜査中のところ同三十日隣家の吉田アサさんが平町で清一郎に偶然行き會つたが「現在病氣で入院してゐるので近く歸る」と再び姿を消したので丑之助から盲人で生活に困ると平署へ捜査方願ひ出た

平職界の所報告

- ◇ 人を求める方
△職工 二十才前後 住込 日給五十錢
△職工 廿才迄 日給五十錢
△番頭 四十五才一五十才
- ◇ 職を求める方
△粕人夫 二十七才迄 月給十圓一十五圓 高卒
△風呂番 三十五才 高一修
△鐵工見習 二十才 高卒
△農夫 六十二才 尋一修
△鐵工 二十三才 高卒
△鐵工見習 十九才 高卒



三井タクシ

番五八六電・二平

